

令和8年8月18日

報道機関各位

熊本大学

国際シンポジウム 「精子提供者の身元開示をめぐる世界的動向」

下記のとおり、国際シンポジウム「精子提供者の身元開示をめぐる世界的動向」を開催いたします。

本シンポジウムでは、非配偶者間人工授精（AID）における精子提供者の非匿名化をテーマとして、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランドおよび日本における法制度、支援体制、倫理的課題、家族への影響などについて検討いたします。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

記

【日時】令和8年9月24日（木）13：00～17：00、9月25日（金）9：45～13：00

【場所】熊本大学文学部・法学部本館（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）および
オンライン（ハイブリッド開催）

【対象】学生、研究者、一般の方（ご関心のある方はどなたでも）

【参加費】無料

【申込方法】9月22日（火）までに、下記 URL よりお申込みください。

<https://forms.gle/pbHMNYx5awf5tQVw5>

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院人文社会科学部

担当：トビアス・バウアー

TEL：096-342-2455

国際シンポジウム

精子提供者の 身元開示をめぐる 世界的動向

法制度・支援体制・
倫理的課題・家族への影響



2026年9月24日（木）
13:00 – 17:00（日本標準時）

2026年9月25日（金）
9:45 – 13:00（日本標準時）



ハイブリッド開催

会場：熊本大学黒髪北キャンパス
文学部・法学部本館

オンライン：参加登録者に詳細を
ご案内します。



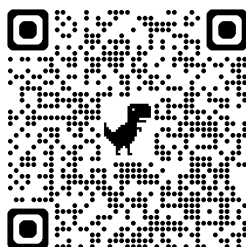
本シンポジウムは、学生、教職員、研究者、一般の方を含め、**本テーマに関心のあるすべての方にご参加いただけます。**

本シンポジウムは**英語および日本語**で実施します。（通訳あり）
参加費は無料です。**2026年9月22日までに事前登録が必要です。**



詳細情報・参加登録は右記のQRコードから。

<https://forms.gle/pbHMNYx5awf5tQVw5>

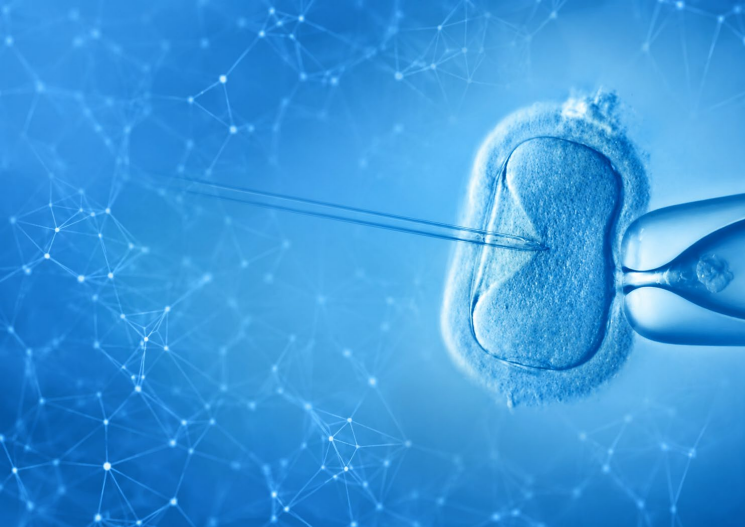


お問い合わせ：
bauer@kumamoto-u.ac.jp



熊本大学
Kumamoto University

主催：JSPS科研費（課題番号 JP23K25258）研究グループ



シンポジウム概要

非配偶者間人工授精（AID）は、多くの国において、長年にわたり生殖医療の一環として実施されてきました。しかし近年、提供精子によって生まれたことを本人に告知しないという従来の慣行や、精子提供者の匿名性を前提とする制度を見直す動きが大きく進んでいます。こうした変化の背景には、自己の遺伝的出自を知る権利への認識が高まり、提供者の匿名性そのものが根本的に見直されるようになったことがあります。さらに、個人向けDNA検査の普及も、この動きを加速させています。

その結果、多くの国では匿名での精子提供が廃止され、提供精子により生まれた人が提供者の身元情報を知ることができるよう、さまざまな制度や措置が導入されています。一方、日本を含む一部の国では、非配偶者間人工授精における自己の遺伝的出自を知る権利をどのように保障し、実現していくかをめぐり、現在も法的・倫理的・社会的な議論が続いています。

本シンポジウムでは、法制度や社会的・文化的背景の異なるドイツ・オーストラリア・ニュージーランド・日本から専門家を迎えます。各報告では、提供者の匿名性を前提とする精子提供制度からの転換が、法制度・規制の面でどのように議論され、実施に移されているのかを検討します。また、当事者とその家族のためにどのような支援体制が求められているのか、あるいはすでに整備されているのか、非匿名化への移行に伴いどのような倫理的課題が生じ得るのか、さらに、こうした変化が当事者とその家族、ひいては各社会における家族観にどのような影響を及ぼし得るのかについて考察します。

国際シンポジウム

精子提供者の 身元開示をめぐる 世界的動向

法制度・支援体制・
倫理的課題・家族への影響

2026年9月24日（木）・25日（金）

熊本大学（会場参加・オンライン参加）



2026年9月24日（木）
13:00 – 17:00（日本標準時）
2026年9月25日（金）
9:45 – 13:00（日本標準時）

ハイブリッド開催



会場：熊本大学黒髪北キャンパス
文学部・法学部本館（860-8555熊本
市中央区黒髪2-40-1）

オンライン：参加登録者に詳細を
ご案内します。



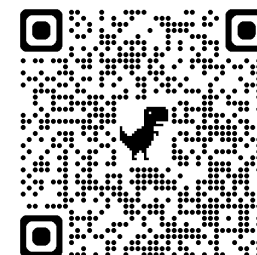
本シンポジウムは、学生、教職員、研究者、一般の方を含め、**本テーマに関心のあるすべての方にご参加いただけます。参加費は無料です。2026年9月22日までに事前登録が必要です。**



本シンポジウムは**英語および日本語**で実施します。（通訳あり）



**詳細情報・
参加登録は、
右記のQR
コードから。**



<https://forms.gle/pbHMNYx5awf5tQVw5>



お問い合わせ：
bauer@kumamoto-u.ac.jp

9月24日（木）

13:00- 開会挨拶
13:05 大谷 順（熊本大学理事・副学長）

13:05- 趣旨説明
13:15 トビアス・バウアー（熊本大学）

13:15- オーストラリア・ビクトリア州にお
13:45 ける精子提供者の匿名性の撤廃：
ドナー・リンクおよびカウンセ
リング・サービスの発展

ケイト・ボーン
（旧ビクトリア州生殖補助医療機構
VARTA）

13:45- 討論・質疑応答
14:15 藤田 智子（九州大学）

14:15- 休憩
14:30

14:30- ニュージーランドにおける「秘密と
15:00 羞恥」から「開示と受容」への転換

ケン・ダニエルズ
（カンタベリー大学）

オンライン登壇

15:00- 討論・質疑応答
15:30 梅澤 彩（熊本大学）

15:30- 休憩
15:45

ドナーの情報開示をめぐるドイツ
の視点：
事例研究とインタビュー調査

アン＝カトリン・クリム
（ベルリン精子バンク）

16:15- 討論・質疑応答
16:45 床谷 文雄（奈良大学、大阪大学）

16:45- 初日の総括・終了挨拶
17:00 トビアス・バウアー（熊本大学）

9月25日（金）

9:45- 趣旨説明
9:50 トビアス・バウアー（熊本大学）

提供精子で生まれた人が求めるド
ナー情報とは

9:50-
10:20

仙波 由加里
（ドナーリンク・ジャパン）

10:20- 討論・質疑応答
10:50 梅澤 彩（熊本大学）

10:50- 休憩
11:05

ドナーの匿名性廃止と変容する家
族関係：
オーストラリアの経験から

11:05-
11:25

藤田 智子（九州大学）

11:25-
11:45

精子提供に係る当事者の情報開示
と子の利益：
ニュージーランドの例を参考に

梅澤 彩（熊本大学）

11:45-
12:05

匿名精子提供から非匿名精子提供
への移行のもつ法的意義：
ドイツ法を参考にして

床谷 文雄
（奈良大学、大阪大学）

12:05-
12:25

時間性とのせめぎ合い：
匿名性から身元情報開示への移行を
めぐるドイツの精子提供者の経験

トビアス・バウアー
（熊本大学）

12:25-
13:00

全体討論・閉会挨拶
トビアス・バウアー
（熊本大学）



主催：
JSPS科研費（課題番号 JP23K25258） 研究グループ